

令和8年度全国学力・学習状況調査結果（湖西市）

湖西市教育委員会

7月に、文部科学省は4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果を公表しました。調査結果について、全国の正答率と併せて、湖西市の子どもたちの様子をお知らせします。

1 調査の概要

- ◆目的 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◆実施日 令和8年4月23日
- ◆実施対象 中学3年生
- ◆調査内容
 - ・教科調査（国語、数学、英語）
 - ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 結果の概要（全国との比較）

教科	
国語	◎
数学	◎
英語	○

◎＝全国平均を上回る（＋1.1以上）
○＝全国平均とほぼ同じ（±1.0以内）
△＝全国平均を下回る（－1.1以下）

質問紙	
国語への関心等	○
数学への関心等	◎
英語への関心等	◎
規則正しい生活	○
自分に関すること	◎
社会性に関すること	◎
学習に関すること	◎

◎＝全国平均を上回る（＋0.5以上）
○＝全国平均とほぼ同じ（±0.4以内）
△＝全国平均を下回る（－0.5以下）

教科に関すること

○よいところ

教科	問題番号	内容・領域	問題の概要	出題の趣旨	正答率（市）	全国との比較
国語	1三	言語	・「ら抜き言葉」であるものを選択する。	・単語の活用について理解しているかをみる。	86.2	◎
	3二	書くこと	・気持ちがより伝わるように、表現を工夫して書く。	・表現の効果を考えて描写することができかどうかをみる。	94.6	◎
	4一	読むこと	・文章全体を三つに分けて整理したものとして適切なものを選択する。	・文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉えることができる。	75.7	◎

教科	問題番号	内容・領域	問題の概要	出題の趣旨	正答率 (市)	全国との比較
数 学	6(1)	数と式	選んだ2数が3と6のときについて、陸斗さんの予想が成り立つことを示す式を書く。	問題場面における考察の対象を明確に捉えているかどうかをみる。	78.2	◎
	7(1)	関数	動画の時間とデータ量の関係を表すグラフにおいて、点Cの座標を書く。	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる。	79.9	◎
	9(2)	データの活用	学年別の睡眠時間について、学年別睡眠時間の箱ひげ図から読み取れることとして正しいものを選ぶ。	箱ひげ図と四分位数の対応について理解しているかどうかをみる。	81.2	◎
英 語	6	読むこと	文章を読み、グラフの空所に入る学校行事を選択する。	音声や語彙、文法、言語の動きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる。	73.3	◎
	7	読むこと	誕生日パーティーに関するメールを読み、最も適切な時刻を選択する。	日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。	81.0	◎
	11 (①)	書くこと	与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く。	音声や語彙、表現、文法、言語の動きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる。	62.3	◎

△もう少しがんばりたいところ

教科	問題番号	内容・領域	問題の概要	出題の趣旨	正答率 (市)	全国との比較
国 語	3 一	言語	文書作成ソフトに表示された意味と用例を参考にして、漢字を書き、漢字の組み合わせとして適切なものを選択する。	文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことができるかどうかをみる。	42.3	◎
	4 二	言語	国語辞典を参考にして、「ほうふつとさせる」と	語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の	38.9	◎

	4四	読むこと	同じような内容を表す別の表現を文章中から抜き出す。 • 二つの例文を比べながら、擬態語「きっぱり」が表している具体的な様子と擬態語の効果を書く。	意味を捉えることができるかどうかをみる。 • 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができかどうかをみる。	43.1	◎
数 学	7(2)	関数	• データ量が1000MBになるときの動画の時間がおよそ何秒になるかを求める方法を説明する。	• 数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。	34.3	○
	8(3)	図形	• 図において、証明する事柄における仮定となる辺や角の関係を選ぶ。	• 具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすことができるかどうかをみる。	38.5	◎
	9(3)	データの活用	• 「就寝時間が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張できる理由を、悠真さんが調べたことの二つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明する。	• データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することができるかどうかをみる。	33.9	◎
英 語	4	聞くこと	• 職場体験についての発表を聞き、その後に示される3枚の絵を体験した順になるように選択する。	• 日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることができるかどうかをみる。	39.3	△
	10(2)	書くこと	• インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く。	• 社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる。	24.6	△
	14	書くこと	• 学校で普段行うことを1つ取り上げ、それについての説明を書く。	• 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる。	33.3	◎

◆成果と課題

- 国語、数学は全国平均を上回り、英語は全国平均とほぼ同水準という結果でした。
- ・国語：「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のほぼ全ての内容で全国より正答率が高い結果となりました。しかし、単純正答率で見ると、「知識・技能」にあたる「言葉の特徴や使い方に関する事項」に少し課題があることが分かります。「日頃から本を読む」「自分の考えをまとめて書く」などの取り組みを通して語彙力を高め、適切な表現力を身に付けていく必要があると感じました。
 - ・数学：国語と同様に、ほぼ全ての内容で全国平均を上回る正答率となりました。しかし、数学的な表現を用いて説明する記述式の問題では、全国同様正答率が低く、課題のある生徒が多いことが分かりました。
 - ・英語：「聞くこと」「読むこと」の2領域の多くの内容で、正答率が全国平均を上回っていました。しかし、「書くこと」において、全国平均を下回る正答率となった問題がいくつかありました。英語の書く力を伸ばすために、英文の正しい構造を覚える取り組みとアウトプットの機会を意図的に設定していく必要性を感じました。

◆今後の取り組み 湖西市では、各学校で6月までに「振り返り」を実施しました。

- 授業の中で問題の振り返りを行い、問題の読解や設問内容を確認した。また、類似問題を復習として解いた。
- 授業の中で、その時間の学習内容にかかわりがある、正答率の低い問題や共通の誤答の多い問題、無答の多い問題を授業で取り上げ説明した。
- 教員間でテストに関わりのある単元を確認し、指導方法について検討した。

★国語★

- ・幅広く情報を収集し、語感を磨き語彙を豊かにするよう、新聞を読んだり読書したりする活動を多く設定する。
- ・言葉の役割と照らし合わせ、文法を学習し、それを基に文章を組み立てるように意識させる課題に取り組ませる。

★数学★

- ・基本的な問題に対応するための小テストを繰り返し行う。長文の問題に対して、補助説明を加えながら、問題に取り組ませ抵抗なく取り組めるようにしていきたい。
- ・用語など基本的事項の学習時は、言葉だけでなく具体的な例を使って説明する。また、定着させるために、家庭で繰り返し学習するよう推奨する。

★英語★

- ・アウトプットを重視し、ペア・グループワーク活動を多く取り入れる。その中で文法をルールとして覚えるだけでなく、記憶の定着率を飛躍的に高めていきたい。

今回の調査結果をもとに、それぞれの学校における実態を再度把握し、さらに授業改善を進めていきます。

湖西市全体としては、その中で、特にタブレットを用いたICT教育の充実を図りたいと考えています。タブレットを用いた協働学習には、「自分の考えを視覚化して共有できる点」「他者の意見をリアルタイムで比較できる点」そして「全員が主役となって議論に参加できる点」に大きなメリットがあります。それらはより高次の問題でも必要とされる「論理的思考力」や「多角的なアプローチ力」にもつながっていきます。思考や対話を促す声かけや学びの場をデザインする工夫を心がけ、より効果的に国語、算数の力を育む取り組みを目指していきます。

質問紙調査に関すること

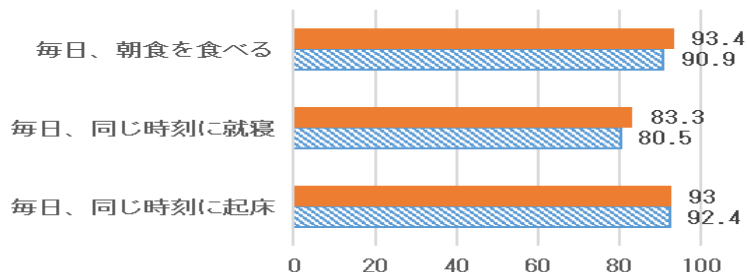
質問紙には、「家庭や学校の生活について」「学校での学習について」等、合計 73 の項目の質問がありました。湖西市の子どもたちのよいところを紹介します。

湖西市

全国

湖西市教育委員会

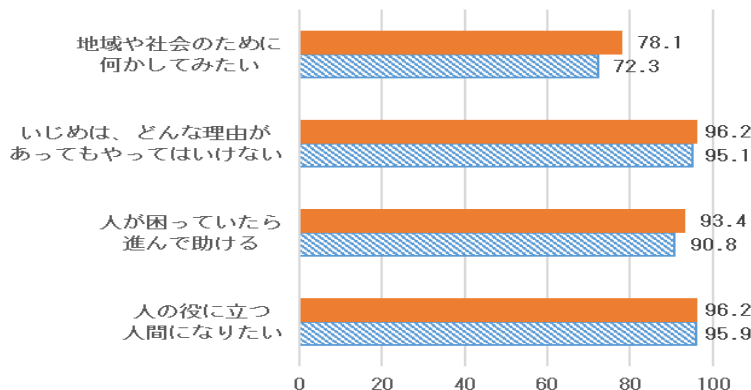
規則正しい生活…○



毎日朝食を摂り、十分な睡眠と休養を習慣付けることで、集中力が高まります。

学校やそれ以外での活動等で大変かと思います。家族で帰宅後の時間の使い方を決め、メリハリのある生活が送れるよう、引き続き声掛けや見届けをお願いします。

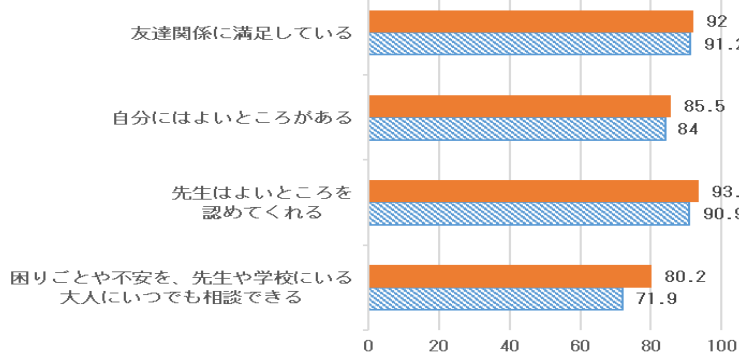
向社会性…◎



向社会性(他者や社会全体に利益や恩恵をもたらすような、思いやりや協力に基づく性質)に関する項目全てで、全国平均を上回っています。友達だけでなく地域との関わりの中で、社会性が培われていることが伺えます。

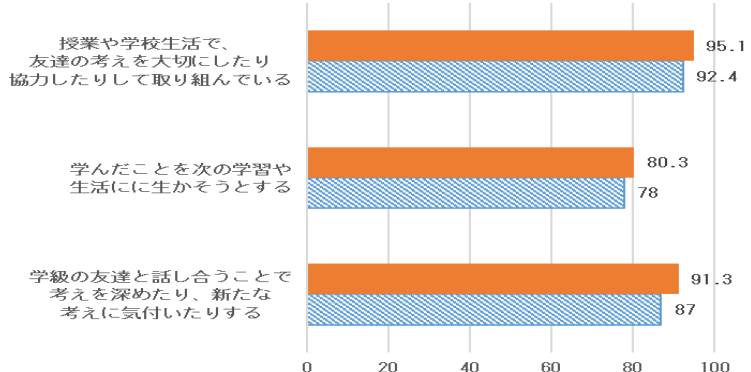
家庭、学校、地域の大人が、いつも温かく見守ってくれているという安心感は、生徒の自己肯定感を高めます。様々なことに挑戦し、成功と失敗を経験しながら、しなやかなでねばり強い人に成長してほしいと思います。

自己有用感・心理的安全性等…◎



学校は、色々な人との関りについて学ぶ場でもあります。中学生という多感な時期は、困りごとや不安で悩むこともあると思います。一人で抱え込まず、まわりの友達や大人に相談してみよう、というメッセージを学校からも伝えていきます。そうした生活の中で、安心して過ごせるよう、また自分のよさに気付けるよう、学校とご家庭で、引き続き連携を図っていきましょう。

主体的・対話的で深い学び…◎



主体的・対話的で深い学びに関する項目全てで、全国平均を上回っています。特に、「学級の友達と話し合うことで考えを深めたり、新たな考えに気付いたりする」項目結果から、学校での授業改善の効果が表れていることが伺えます。

引き続き、生徒自身が考えを深化・発展できる授業づくりに取り組んでいきます。

全国学力・学習状況調査 質問紙結果の振り返りと ご家庭でさらに力を伸ばすポイント

今回のアンケートでは、すべての項目で非常に優秀な結果となりました。自分を認め、周囲と協力しながら、自ら深く学ぶ姿勢を身に付けている生徒が、湖西市には多くいます。ご家庭でのこれまでの温かい関わりの賜物です。この「基盤」を活かし、それぞれの力をさらに伸ばす関わりを、ご家庭でお願いできたらと考えております。

生活習慣を「セルフマネジメント」へ

- ・**時間の使い方を任せる**：スケジュール管理を本人に委ねることで、自分で時間をコントロールする感覚を養う。
- ・**質の高いリフレッシュ**：頑張り屋なお子様だからこそ、「ボーっとする時間」や趣味などに熱中する時間を作るなど、切り替えも大切にさせる。

向社会性を「リーダーシップ」へ

- ・**イベントの企画者に**：家族旅行の行程や家族のイベント企画を任すことで、「皆が楽しめるためにどのような配慮をすればよいのか」を考え、実践する。
- ・**多様な人と触れ合う**：地域の行事や異年齢との交流など、価値観の異なる人と協力する体験を通じて、傾聴力、合意形成力、客観的な視野を獲得する。

自己有用感を「レジリエンス」に

- ・**少し高めのハードル**：得意なことだけでなく、新しい挑戦（検定や進路の実現等）で「乗り越える体験」を積む。
- ・**試行錯誤のプロセスを承認**：結果だけでなく「途中で工夫したこと」「挑戦した姿勢」を褒め、しなやかな強さを育む。

主体的・対話的で深い学びを「探究」へ

- ・**体験（本物）とつなぐ**：興味を持ったテーマに関する「本物」に引き合わせ、さらに探究心を高める。
- ・**教える体験を作る**：「今日分かったことをお父さん/お母さんに5分で教える」時間を作り、アウトプットすることで要約力を高めると共に、自分の考えや分からないことをはっきりさせ、次を知りたいという探究心を強める。

学校でも、お子様の高い協調性と探究心を生かした授業や学級づくりを進めてまいります。学校とご家庭とで連携をしながらよりよい生き方のできる生徒に育てていってほしいと願っております。

調査問題や正答例を詳しく見たい方はこちらからどうぞ

